

フォーラム アンチスティグマ

～偏見や差別のない社会へ～

日時 2012年6月23日(土) 14:00～16:30
場所 とかちプラザレインボーホール
参加費 無料
定員 350名(車椅子席、親子席あり)

帯広市の姉妹都市、マディソン市の州議事堂(アメリカ合衆国ウィスコンシン州)

プログラム

1. 開会挨拶

加藤 健利氏(2011～2012年度 帯広ロータリークラブ会長)

2. 基調講演

大江 徹氏(帯広ロータリークラブ社会奉仕委員長)

3. パネルディスカッション

テーマ「アンチスティグマ、偏見や差別のない社会へ」

スティグマを受けている当事者と支援者に参加して頂き、意見交換を行います。

コーディネーター 門屋 充郎氏

(特定非営利活動法人 十勝障がい者支援センター理事長)

パネリスト

引きこもりからの回復者の方、親の会の方
薬物依存症の自助グループの方
自死で家族を失った方
統合失調症ピアサポーターの方
支援者の方

4. 閉会挨拶

小澤 昌博氏(帯広ロータリークラブ社会奉仕担当理事)

このフォーラムの趣旨

スティグマとは、「烙印(らくいん)を押す」という意味です。

人が「望ましくない」とか「汚らしい」として、他人から軽蔑や不信を受けるようなマイナス・イメージをさします。社会はスティグマのある人を対等に扱わず差別し、多くは深い考えもなしにその人の可能性をせばめている可能性があります。

対象となる例は、身体障がい、奇形や変性疾患、皮膚疾患、視覚障がい、聴覚障がい、老齢や肥満や低身長などの肉体的特徴、人種、民族、宗教の違い、精神障がい、アルコールや薬物依存症、性同一性障がい、AIDS患者、同性愛者、失業者、自殺もしくは自殺未遂をした本人や家族、不登校児童、引きこもり、ニート、犯罪歴がある人などです。

アンチスティグマとは、以上のスティグマに対するアンチという意味で、スティグマを減らす運動の総称です。そのスティグマを軽減し無くすために、「～障がい」と打ち明けても、偏見や差別されない「街をつくるためのフォーラム」を開催し、「彼らも社会の一員である」ということを啓蒙し、社会参加の支援の契機にしたいと考えています。(帯広ロータリークラブ社会奉仕委員会委員会)

*フォーラム参加には事前のお申し込みが必要です

お問い合わせ

帯広ロータリークラブ事務局 〒080-0013 帯広市西3条南9丁目経済センタービル4F

TEL 0155-25-7347 / FAX 0155-28-6033

<http://www.obihiro-rc.jp>

とかちプラザ アクセス
住所 西4条南13丁目
長崎屋帯広店の 向かい
帯広駅 南口 徒歩3分



主催: 帯広ロータリークラブ

共催: 帯広市

後援: 帯広市医師会 帯広商工会議所 公益財団法人北海道作業療法士会 十勝支部 財団法人北海道看護協会 十勝支部 北海道精神保健福祉士協会 十勝歯科医師会
帯広建築工業協同組合 十勝ソーシャルビジネスネットワーク NHK 帯広放送局 北海道新聞社 帯広支社 十勝毎日新聞社 北海道薬剤師会 十勝支部



ロータリークラブとは人道的奉仕を行い、社会に奉仕するためにあらゆる職業の水準を高め、世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した事業人および専門職業人が世界的に結びあった団体です。